



高須小だより

学校教育目標 『思いやりの心と学習意欲に満ちたたくましい子どもの育成』

高須保育園との交流

2月26日(木)に、1年生と高須保育園の年長児との交流が本校の体育館でありました。最初に1年生の司会進行役の子が、交流の時間の流れを説明し、その後、鬼ごっこをしたりドッチボールをしたりして楽しみました。最初はお互いに緊張していましたが、時間が経つにつれ、鬼ごっこをしたときにこけた保育園児がいると「大丈夫」と声をかけたり、ドッチボールをしたときにそっとボールを渡して投げさせたりするなど1年生が保育園児を思いやる姿が見られました。楽しい時間が過ぎるのはあっという間で、終わりの会が始まると残念そうな表情を見せていました。その終わりの会では、お互いに交流の感想を発表し、最後は握手をして終わりました。



今回の交流を通して、年長児には小学校に入学する期待と安心感を持ってほしいですし、1年生には4月から上級生になるという自覚を持ってほしいと思います。

いつもありがとうございます！ 朝の見守り



高須小学校の校区内では、暑い日も寒い日も、晴れの日も雨の日も、毎朝、地域の方々が交通量の多い交差点等で子どもたちの登校を見守ってくださっています。そのおかげで、子どもたちは安全に登校することができています。本当にありがとうございます。

ただ、バス等がよく通る交通量の多い道路で、横断歩道のない場所を横切っている子どもがいるため、学校では何度も指導しています。交通事故の防止に

努め、自分の命は自分で守るよう心がけてほしいものです。また、登校時に見守りをしてくださっている方々には、感謝の気持ちを込めて朝のあいさつをするようにも指導しております。ご家庭でも指導していただきますようよろしくお願いいたします。

校内研修の取組について

本校では、「主体的・対話的で深い学びの創造」をテーマに、子どもたちに確かな学力を育成しようと全職員で研究に取り組んでいます。

右の写真は、1月に行われた校内研修会の研究授業の様子です。この日は、3年生の特別活動の授業が行われ、全職員がその授業を参観しました。そして、その日の放課後に協議会を設定し、どのような問題提示を行えば主体的な活動につながるのか、またどのような場を設定すれば深い学びにつながるのかを授業を通して研究を深めていきました。



このほか、本校では、生徒指導研修、特別支援教育研修、人権研修等、さまざまな研修に取り組みながら、学校全体の教育力の向上に努めています。これらの取組が少しでも子どもたちの力を伸ばしていくことにつながることを願っています。